

## 平安の七夕飾りを再現しました

### 第17回「乞巧奠（きっこうでん）」飾り

7月1日（水曜）から7月15日（水曜）まで、大宮八幡宮（大宮2丁目3番1号）で、平安時代の七夕飾り「乞巧奠」飾りが公開されています。

東京のほぼ中央に位置するため「東京のへそ」との異名をもつ大宮八幡宮では、平安の七夕飾りを現代に再現する「乞巧奠（きっこうでん）」飾りが7月1日（水曜）から7月15日（水曜）まで清涼殿ロビーにて公開されています。

「乞巧奠」は我が国の「棚機つ女（たなばたつめ）」の信仰や中国の織姫（おりひめ）・牽牛（ひこぼし）の星祭りが重なり、宮中を中心に技芸の上達を祈る七夕行事として行われていたもので、短冊のルーツといわれる梶の葉や五色の紙垂（しで）を四方にめぐらせ、詩歌・管弦・裁縫などの上達を祈り、筆硯（ふですずり）・雅楽器（ががくき）・糸などをお供えして飾ります。

併せて、神門前には梶の葉や五色の布を垂らして平成の七夕・大宮八幡「乞巧潜り（きっこうくぐり）」が設えられ、これを潜ることにより技芸の上達を祈ります。

本日10時30分、お隣の大宮幼稚園の園児35人が見学に訪れました。なじみのある七夕飾りとは少々趣の異なった「乞巧奠」飾りに目を奪われている様子でした。その後、神門前の「乞巧潜り」を「サッカーが上手くなりますように」「一輪車に乗れますように」などと願い事をしながら、五色の布の間を潜りぬけていきました。

また、4日及び11日の各土曜日午後5時より「雅楽の夕べ」を開催するほか、7日の午後6時から「七夕の神遊び（七夕祭）～技芸上達祈願祭～」が開催され、雅楽や神楽舞（かぐらまい）もお楽しみいただくことができます。



### 第17回 平安の七夕 乞巧奠（きっこうでん）」飾り

【日時】7月1日（水曜）～7月15日（水曜）午前9時～午後6時

【場所】大宮八幡宮 清涼殿ロビー（大宮2丁目3番1号）

【交通】電車：井の頭線「西永福駅」より徒歩7分

または「永福町駅」より徒歩10分

【報道機関 問い合わせ先】

大宮八幡宮 電話 03-3311-0105